



がん撲滅チャリティー試合入場券を寄贈しました。

令和6年7月2日

令和6年7月2日（火）、がんと闘う患者さんやそのご家族に楽しんでいただくため、新日本プロレス・がん撲滅チャリティー試合入場券を神奈川県に寄贈しました。

神奈川県庁で行われた寄贈式では堀井浩之神奈川流通商福祉防犯協力会理事（神奈川福祉事業協会理事）が黒岩祐治神奈川県知事に入場券100枚を寄贈しました。



左から神奈川流通商福祉防犯協力会堀井理事、黒岩神奈川県知事

寄贈したのは、8月8日横浜武道館（横浜市中区）において開催される「がん撲滅チャリティー横浜大会」の入場券で、県内の病院などを通じてがん患者さん等が招待されます。



左から 県立病院機構柏崎副理事長、県遊技場協同組合佐藤専務理事、堀井理事、黒岩知事、株式会社「創」小島会長、桐生県議会議員、梅沢県議会議員

神奈川県が推進する「がんを知り、がんと向き合い、がんの克服を目指す神奈川づくり」に賛同し、平成17年度（2005年）から入場券の寄贈を始めたもので、今回で18回目になります。

試合を観戦した方々の生きる力の支えになれば幸いです。

私たち遊技業界は、これからも社会貢献活動に取り組んでまいります。



神奈川県福祉事業協会は昭和60年2月、神奈川県遊技場協同組合をはじめ県内遊技業界により社会福祉に貢献する組織として設立されました。